

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 5 月 27 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 5 月 20 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	4 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	45307 人
創立年	1868 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 144 円)	B 日本円	備考
授業料	13,900	円	
宿舍費	15,800	円	
食費	3,000	円	1 ヶ月 300 ドル程度
図書費	200	円	
学用品費	100	円	
携帯・インターネット費	800	円	
現地交通費	0	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,000	円	一ヶ月 100 ドル程度
旅費(留学中)	1,600	円	
被服費	200	円	前のルームメイトから被服など受け継ぐ
医療費	0	円	保険で全額カバー
保険費	0	円	形態: 大学の学費内に含まれる
渡航旅費	1,500	円	香港から渡航
ビザ申請費	250	円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	38,350 (= 円)	円	
総計(A+B) ※円	5,526,430 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：香港国際空港 目的地：ロスアンゼルスオンタリオ空港 経由地：台北桃園空港

復路 出発地：サンフランシスコ国際空港 目的地： 経由地：香港国際空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：China Airline 料金：900ドル

復路 航空会社：United Airline 料金：600ドル ∴合計：1,500ドル

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：各航空会社のオフィシャルサイト)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☐ 学生寮(寮の名前：) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

SNS

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

概ねに居心地の良い部屋、施設完備、交通は少々不便。バークレーの北辺は南辺と比べて交通は不便の一方で、著しい治安が良いです。これからバークレーに留学する人にできるだけ北辺のアパートを探すことをお勧め。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Berkeley Therapy Institute)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 留学先大学の相談窓口、助教員)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友人、学校のお知らせや Citizen アプリから危険地域情報を収集した。バークレーの南辺はオークランドに隣接しているため治安が著しい不良、できるだけ行かないようにしていた。また、他の人から見やすいところにペパースプレーなどを装備していた。学内でも貴重品を目線から外らないようにしていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

アパートのインターネットは一ヶ月で一回ぐらい繋がらない時がある。学校では WIFI 接続可能であったので、利用できない時は学校に行った。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に BOA の銀行口座を開設して親から送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

持薬などできるだけ多い目に用意した。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

現地で開設した銀行口座で支払った。支払時期は学期が始まる半月前から始まる後一か月まで。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to General Astronomy	天文学入門
科目設置学部・研究科	Department of Astronomy
履修期間	2024 年秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 4 回
担当教授	Alexei Fillipenko
授業内容	現代天文学について総合的な解説
試験・課題等	中間試験 3 回、期末試験 1 回
感想を自由記入	現代天文学の分野において一番分かりやすい授業。基礎から詳しく説明してもらえるので理系でなくても履修可能。秋学期だけ開講するので事前調べてください

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Beauty and Joy of Computing		プログラミングの美しさ(プログラミング入門)
科目設置学部・研究科	Department of EECS	
履修期間	2024 年秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 6 回	
担当教授	Dan Garcia	
授業内容	主に基礎的なプログラミング、プログラムデザインなどについて総合的解説	
試験・課題等	中間試験 5 回、期末試験一回(全部オンライン)	
感想を自由記入	一番お勤めの授業。基礎までしっかりとプログラミングスキルを分かりやすく説明してもらえる。教授はとても熱心で授業も面白かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
AI, Economy and Society		AI、経済と社会
科目設置学部・研究科	Department of Sociology	
履修期間	2024 年秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 5 回	
担当教授	Marion Fourcade	
授業内容	デジタル技術が現代社会にもたらす影響をテーマとして専門的解説	
試験・課題等	中間試験 1 回、期末試験一回	
感想を自由記入	現代デジタル技術が社会にもたらすインパクトなどを経済面や社会面から分析と解説。専門知識がかなり必要。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Computational Structures in Data Science		データサイエンスにおける計算構造
科目設置学部・研究科	Department of EECS	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 3 回	
担当教授	Michael Ball	
授業内容	データサイエンスにおける基本的な知識・スキルについて総合的に解説	
試験・課題等	中間試験 1 回、期末試験一回	
感想を自由記入	データサイエンスのアドバンスな知識についての解説。コンピューターサイエンスの知識基盤を整えた後履修することが推奨。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Entrepreneurship		起業家精神
科目設置学部・研究科	School of Haas	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Aaron McDaniel	
授業内容	ビジネスアイデアを構想し、実践すること	
試験・課題等	中間報告 1 回、期末報告 1 回	
感想を自由記入	講師は経験者であり、実際の起業家も学期中に数回登壇した。ゼロからのビジネス経験をえられる。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☒進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

カリフォルニア大学の進路相談所を活用した。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

アメリカの大学

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

留学中にできるだけ多くの学生と現地の人

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

進学の準備に関しては、現地の学校で現地の学生や教授と多く交流した、語学試験の対策として活用した、現地でしか得られない情報を収集した。
また、進学前に自分の研究分野と関連のある教授と交流した、自分の理想を伝え、意見を伺った、推薦状をいただいた、人的ネットワークの構築につなげた。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	語学試験の勉強
	8 月 ～ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ～ 12 月	語学試験、学内選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	出願
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請、航空券購入、滞在先確保
	8 月 ～ 9 月	予防接種、渡航、留学中の中間試験
	10 月 ～ 12 月	留学中の期末試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	留学中の中間試験
	4 月 ～ 7 月	留学中の期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

カリフォルニア大学バークレー校は、全米でも最も歴史と伝統を誇る名門公立大学の一つであり、世界的にも高く評価されている教育機関です。私がこの大学を留学先として選んだ最大の理由は、その豊かな学術的伝統と卓越した教育水準に深い魅力を感じたからです。実際に在学中、同校では歴史学、社会学、経済学、天文学など多岐にわたる分野において、高度で刺激的な学びを体験することができました。

バークレーの授業は、非常に質が高く、同時に大きな学業的負荷も伴います。履修する科目によっては、1 学期に 2 回から 8 回程度の中間試験が課されることもあり、学期の第 2 週目から試験勉強に取り掛かる必要があることも珍しくありません。授業の内容は非常に専門性が高く、知識の暗記にとどまらず、応用力や論理的思考力が求められます。たとえば、試験では「○○理論を説明せよ」という形式よりも、「○○理論を用いてこの具体的な事例を分析せよ」といった実践的な設問が主となります。

また、バークレーの教育は学生の主体的な学びを重視しており、GSI(Graduate Student Instructor)や教授との個別相談やディスカッションが学習の重要な一部とされています。このような環境では、語学力のみならず、自ら学び取る姿勢や探究心、そして積極的にコミュニケーションを取る力が問われます。

授業に加え、バークレーでは課外での学術的な活動も非常に活発です。特に、学部生向けの研究プログラムである URAP(Undergraduate Research Apprentice Program)を通じて、自分の関心に合った研究室でリサーチ活動に参加することが可能です。私自身も、URAP を活用して指導教員とのつながりを築き、将来の進路を見据えた貴重な経験を積むことができました。このような経験は、履歴書にも大きな価値を与えると同時に、実際の研究の進め方を学ぶ機会にもなります。

一方で、留学生活には注意すべき点もあります。バークレーは、南側に全米でも治安の悪さで知られるオークランド市を隣接しており、日本と比べると安全面でのリスクが高い地域です。実際に、窃盗事件やホームレスによるトラブルなどが大学周辺で頻繁に発生しています。こうした背景から、日没後の不要不急の外出は極力避け、やむを得ず外出する場合には、必ず友人と同行するなどの対策が必要です。安全への意識を高く持ち、自己防衛の姿勢を常に忘れないことが求められます。

このような厳しい環境下においても、私はバークレーでの 1 年間を通じて、多くのかけがえのない経験を得ることができました。国籍やバックグラウンドの異なる仲間との出会いは、私の視野を大きく広げ、多様な価値観を尊重する心を育ててくれました。また、自分の学問的な興味を深めると同時に、将来の進路に対する明確な方向性を見出すこともできました。

この貴重な経験は、今後の人生においても大きな支えとなることでしょう。これからバークレーで学ぼうとする皆さんにも、ぜひこの地で人生を変えるような経験をさせていただきたいと心から願っております。